

2025 年 7 月 30 日

「AYA 世代女性の卵巣悪性腫瘍患者(境界悪性腫瘍も含む)における妊孕性温存療法の実態調査」

## 1. 研究の対象

日本がん・生殖医療学会のがん・生殖医療登録システムである新旧 JOFR に登録されている症例の中で、卵巣腫瘍術後もしくは卵巣腫瘍再発のため妊孕性温存療法を実施した患者さんを対象としています。

## 2. 研究目的・方法

目的：

卵巣腫瘍術後患者及び卵巣腫瘍再発患者における妊孕性温存療法の全国実態調査を行い、その有効性と安全性について後方視的に検討します。

方法：

日本がん・生殖医療学会は、2018 年にがん・生殖医療患者登録制度である日本がん・生殖医療登録システム (Japan Oncofertility Registry: JOFR=旧 JOFR) を設立し、2021 年には公的妊孕性促進事業の開始に合わせて新 JOFR に発展させました。

卵巣腫瘍術後患者及び卵巣腫瘍再発患者に対して妊孕性温存療法を実施した場合も新旧 JOFR に登録されており、今回は同システムの情報を利用して調査を行います。

研究期間：

2023 年 1 月 27 日から 2025 年 12 月 31 日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

主要評価項目：

登録施設の実施件数、採卵成績

副次評価項目：

対象者の患者背景（年齢、身長、体重、結婚歴、喫煙歴、既往歴）、投薬内容、治療経過、卵巣腫瘍の病理組織型、術式、採卵前の AMH 値、採卵方法、安全性、妊娠の有無

具体的な収集項目については以下に示す通りです。

代表機関へ調査票に入力のうえ、パスワードをかけた USB に保存し、レターパックで郵送します。

新旧 JOFR 登録施設からの収集項目：

＜患者基礎情報＞

採卵時年齢、身長、体重、結婚歴、喫煙歴、既往歴、投薬内容

＜原疾患情報＞

卵巣腫瘍の病理組織型、進行期

卵巣腫瘍に対する 1 回目の手術の有無→有れば実施日と術式

卵巣腫瘍に対する 2 回目の手術の有無→有れば実施日と術式

卵巣腫瘍に対する 3 回目の手術の有無→有れば実施日と術式

卵巣腫瘍に対する化学療法レジメン（薬剤名）と開始日

1 回目の再発の有無→再発があれば再発診断日、年齢、再発治療開始日

2 回目の再発の有無→再発があれば再発診断日、年齢、再発治療開始日

#### <妊孕性温存情報>

採卵のタイミング（術前採卵、術中採卵、化学療法前の採卵）と採卵日

採卵前の FSH、胞状卵胞数、AMH（FSH と胞状卵胞数は測定日の月経周期日を記載）

排卵誘発方法（ランダムスタート法、アンタゴニスト法、short 法、long 法、PPOS 法、低刺激法、その他）

採卵方法（経膈採卵 or 術中採卵）

採卵時合併症（腫瘍穿刺の有無、腫瘍破綻の有無）

採卵成績（回収卵子数、凍結卵子数、凍結胚数）

#### <妊娠情報>

挙児手段（自然妊娠、一般不妊治療、凍結卵巣再移植後の自然妊娠、妊孕性温存検体を利用した ART、妊孕性温存検体を利用しない ART、凍結卵巣再移植後の ART、配偶子提供 ART(海外)、養子・里親、不明）

分娩取扱い医療機関名

新旧 JOFR 登録施設から分娩施設への問い合わせ（可、不可）

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1

兵庫医科大学産科婦人科 講師 脇本 裕

電話：0798-45-6481

対応時間は月～金曜日は 8:30～16:45